



2020年 2月 3日
第91号

JR 東労組 Yokohama

JR東労組横浜地本

発行人 助川一実

編集 情宣部

ホームページ

<http://www.jreu-yokohama1.jp/>



水戸・東京・八王子地本の組合員の皆さん 情報を見比べ最善の選択を！

東京・水戸・八王子地本の組合員から連日、横浜地本の仲間に「東労組はどうなっているの？」「職場集会で今後をどうするか迫られたけれど、どうしたらよいのかわからない」など悲痛な叫びが届いています。

横浜地本も2007年に組織問題がありました。その時は、横浜地本執行委員の多くが東労組批判を行い、横浜地本内の各職場は東労組側と異を唱える地本側と2つに別れてしまいました。また「猛獣王国」なる謎のホームページも立ち上がりました。どちらが正しいのか、どうしたらよいのか職場の組合員は悩み苦しみました。

しかし、多くの組合員がいろいろな情報を精査し、東労組側が正しいという判断をして現在のJR東労組横浜地本があり、横浜地本は団体交渉などを経て要求や改善を実現し、働きやすい職場をつくってきました。

水戸・東京・八王子地本に所属する組合員の皆さん、本部と地本とどちらが正しいことを言っているのかわからず、考えることにも疲れ、全てを辞めたくなくなってしまうかもしれません。その気持ちはわかります。しかし、考えることを投げ出さないでください。



企業と労働者は最初から平等ではありません。だから憲法第28条で団結権、つまり労働組合を結成する権利が保障されているのです。企業と平等に交渉するためには私たち労働者が団結しなければならないのです。「組合に所属しなくても自己責任」「少数派でもかまわない」という3地本の一部指導部の態度は、本当にこの先会社と真摯に交渉し、働きやすい職場をつくっていく気があるのでしょうか。

本部、各地本、JR総連のホームページもあります。本部機関紙「緑の風」も月に1回皆さんのお手元に配布されています。ぜひ情報を見比べてください。

悩んだときはぜひ横浜地本の仲間に相談してください。 東労組に結集し仲間と共に歩んでいこう！